



学校教育目標
目指す児童像

ふるさとを愛し、自己の夢の実現に向けて努力する児童の育成
進んで勉強する子 思いやりのある子 体をきたえる子

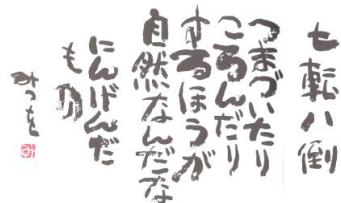


「ふるさとを愛し、自己の夢の実現に向けて努力する児童の育成」

深谷市立榛沢小学校長 横田 茂男

下表は、本校の12月と7月の教育活動に係る評価のうち、努力に関しての保護者と児童の結果です。保護者も児童も肯定的な数値が向上しています。タレントの林修氏は、努力について、「努力は裏切らない、という言葉は不正確です。正しい場所で、正しい方向を向いて、十分な量なされた努力は裏切らない、が正しいんです。」と述べています。確かに、冬季オリンピックで活躍した選手をみても、出場までに「正しい努力」があったことは想像に難くありません。ですが、子供たちにとっては、正しいか正しくないかの見極めは難しいです。「正しい努力」とは勝者の論理とも言えなくもありません。

項 目	概ね達成	
	令和3年12月	令和3年7月
お子さんは、夢や希望に向かって努力を重ねている。(保護者)	87.5%	84.4%
今の夢や大人になってやりたいことにむかってがんばっています。(児童)	93.2%	92.0%



相田みつを著「生きていてよかった」
(ダイヤモンド社)より
©相田みつを美術館

私個人の経験ですが、努力が裏切られることはよくありました。ですが、努力そのものが楽しいと感じることもありました。自己存在感を高めてくれていたとも言えます。詩人の相田みつを氏は、大らかな心で私たちを励ましてくれています。つまづくことややぶことは決して恥ずかしいことでも悪いことでもないとのメッセージが伝わってきます。氏の詩には、「起き上がりなさい」とは一言もありません。自分で自分を立て直す自然治癒力を信頼していたのだと思います。

この一年、榛沢小学校の教職員は、学校教育目標「ふるさとを愛し、自己の夢の実現に向けて努力する児童の育成」に向けて、全力で子供たちを支援してきました。子供たちと教職員の努力に拍手を送ります。そして、子供たちを支えてくださいました保護者、地域の皆様に心より感謝申し上げます、最終号のあいさつといたします。

ありがとう集会について

読み聞かせや学習支援(習字、のこぎり応援隊、畑の先生等々)や登下校の見守り、環境整備(草刈り)などでお世話になっている皆様をお招きし、感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」を例年開催していますが、感染症予防から今年度も中止させていただきます。

学校では、子供たちからの手紙と花を用意しています。各グループの代表の方よりご案内がある予定ですが、3月8日(火)～11日(金)に個別に受け取りにご来校いただけますと幸いです。ご来校の際は職員室へお声がけください。



卒業式と入学式について

例年、各地区自治会長をはじめ民生児童委員、学校運営協議会委員等、地域の皆様に、新しい一歩を踏み出す子供たちへの激励と祝福をいただいておりますが、来賓の皆様のご臨席をご遠慮いただいたの実施とさせていただきます。

関係の皆様にはその旨の文書を送付させていただきます。ご理解くださいますようお願いいたします。

給食ありがとう集会 1月25日



給食委員会の5・6年生が準備から当日の進行までを担当しました。例年は、体育館で行っていますが、感染予防から、校長室から各学級に配信しての集会となりました。5年生石塚和優(なゆ)さんからの感謝の言葉の後、給食委員から栄養士さんと調理員さんへ花と手紙が贈呈されました。また、委員長の6年井上心那(こな)さんからは委員会から全校へのお願いがありました。

クラブ見学3年 2月7日



3年生は、クラブ見学を経て4年生で活動したいクラブを決めていきます。3年生はタブレットを手に、興味深く活動の様子を記録していました。クラブの部長は、活動内容をわかりやすく紹介していました。

ランタイム 全校縄跳び



冬場のランタイムは、縄跳びが中心です。縄跳びは体にとってもよい運動です。佐藤体育主任からは、「タブレットで跳び方や練習方法を調べてみるといいですよ。」とのアドバイスがありました。